



新鶴見小

江ヶ崎町2番1号 ☎583-8915

色鮮やかな花々に囲まれて 次のステージへ

校長 佐藤 朗子

2月は、暖かい日が続きました。天気予報によると、今年は平年より気温が高い日が多く、このまま春に向かうようです。2月中旬の冷え込みが厳しかった朝、正門前の自然広場の霜柱を楽しそうに踏んでいる子どもたちがいました。「見て、きらきらしている！」と、手に持ってうれしそうに見せてくれる子もいました。大人にとっては暖かくて助かった2月ですが、子どもたちは、霜柱が立ったり、氷が張ったり、雪も降ったりする寒い冬の日をもっと経験したかったのかもしれない。

正門を出て横断歩道を渡ったところに、花壇があります。スクールパートナー・しんつるサポーターズの皆さんが、菜の花とパンジーを植えてくださっています。まちなかでは、すでに菜の花が満開になっているところもありますが、ここの菜の花はまだ半分位しか開花していません。スクールパートナー・しんつるサポーターズの皆さんが、卒業式に合わせて種をまいてくださったのです。この菜の花が満開になるときが楽しみです、それは6年生が旅立ちのとき。6年生と一緒に過ごすこれからの3週間、子どもたちと教職員と一日一日を大切にしていきたいです。

正門横の紅梅に続き、今は自然広場の早咲きの桜（寒緋桜）が満開です。横浜のソメイヨシノの開花予想は3月18日とのこと。希望に満ちた春に向かいます。暖かな日差しに多くの花が咲き、中学生となる6年生、次の学年に進級する子どもたちをさらに輝かせてくれることでしょう。



横浜市のG I G Aスクール構想

これまでに経験したことのない「学校の臨時休業」が発表されてからちょうど1年が経ちます。学校の休業から始まった令和2年度は、様々な制約がある中で教育活動を行ってきました。保護者の皆様には、家庭学習、登下校、学校行事などについてご協力いただき、本当にありがとうございました。

今年度の学校休業をきっかけに、ICT*環境の整備は大きく動き出しました。令和元年12月に文部科学省から「G I G Aスクール構想の実現」が示され、令和5年度までに段階的に「1人1台端末」の整備等を行うことになっていました。しかし、緊急事態においても、ICTの活用によりすべての子どもたちの学びを保障できる環境を早期に実現するため、令和2年度中に整備されることになりました。新鶴見小学校にも、すでに児童数分の端末が届き、各教室のネット環境(Wi-Fi)も整いましたが、初期設定等が6月頃までかかる見込みですので、実際に活用していくのは夏頃になります。その間、私たち教員も研修を行い、子どもたちの学びがより豊かになるようにしていきます。社会のあらゆるところでICTの活用が日常になっていくであろうこれからの時代、私たち教員も日々学んでいかなければならない、と改めて感じています。

*「ICT」とはInformation and Communication Technologyの略で、「情報通信技術」を意味する言葉です。